

検査の豆知識2

数回に分けて病院で行われているいろんな検査についてお話をしています
 今回は外来診察中に行われず結果のわかる迅速診断という検査についてお話しします
迅速診断とは

病気の原因を調べることは治療法を決める上でとても大切なことで、いろんな検査法があります
 そのなかで十五分程度の時間で診断結果のわかる検査を迅速診断法といいます、大きな機械も必要とせず、
 受診した医療機関で検査のできる比較的簡単なキットが主流となっています、わかりやすい例では薬局で
 販売されている妊娠をチェックするキットと同様と考えていただくといいかもありません、
 今回はその中で小児科では検査する頻度の高い感染症の迅速診断についてお話しします、

1 インフルエンザ迅速診断

インフルエンザの迅速診断は5年程度前からできるようになりました、当初は手順が煩雑で多人数を
 検査することは困難でしたが、年々改良され現在では比較的簡単に検査ができるようになりました、
 鼻に綿棒を差し入れて鼻汁を採取して調べます、現在検査キットの種類は数種類ありますが大きく
 分けるとA型とB型の判別ができるものとできないものに分かれます

当院では現在基本的にはA型とB型の判別ができないキットを使用しています
 それは次の理由によります

- 1 A型とB型とを判別しても基本的にお薬に違いはない
- 2 (一歳未満のお子様については薬が変わるためA型B型の判別できるキットを使用しています)
- 3 手順が簡便で間違いが少なく多くの患者様に対応が可能である
- 4 判断に要する時間が他の検査に比べ約半分である(待ち時間が少なくなる)
- 5 日本各地の流行状況の情報を入手していれば型の予測は可能である、などです

インフルエンザの迅速診断キットの弱点

インフルエンザに罹っていても熱がでてから間もない時期(十二時間が目安)には、検査では
 インフルエンザではない、と判定されることがあります、ウイルスの量が少ないためであり、
 インフルエンザが疑われる場合は再度検査することが必要です、
 このことにつきましては保護者の方々にもご承知いただければと思います

今月、来月の小児科診察予定

3月21日(土：春分の日)は9-12時
 にて診察いたします

インフルエンザの流行状況

2月中旬現在和歌山市ではインフルエンザが
 流行しています、型としてはほとんどがA型
 ですが、2月上旬に比べると増加率は少な
 くなってきています、しかしB型が流行して
 くる年もあるため、まだ注意が必要です、
 学校や保育所などの流行状況について注意
 しておきましょう、
 全国的な流行状況につきましては
<http://influenza.elan.ne.jp> 等を
 参考にしてください

インフルエンザのお薬の話

インフルエンザの一部のお薬について一歳
 未満の子供にについては使用を控えるべきで
 あるとの報道がありました、現在、一歳未満
 の子供がインフルエンザに罹った際の対応に
 つきましては個別にご相談させていただいて
 おります、また一歳以上のお子様については
 全く問題はありませぬ
 ご了承の程よろしくお願いたします



涼華ちゃんと漱佑君

あんなに泣いていたのにすっかりお姉ちゃん

月山病院改装工事のお知らせ

月山病院では患者様の利便性向上のため
 改装工事を行うことになりました、2月下旬
 から順次工事を開始し、4月末日に終了予定
 です、改装では

- 1 診察室の拡張(小児科診察室を2部屋確保)
- 2 待合室の拡張
- 3 待ちあい順番表示
- 4 病室の整備などをおこなう予定です、

工事中は騒音や振動などなにかとご迷惑をおかけ
 しますがご理解のうえ、ご協力のほどよろしく
 お願いいたします、

2 溶連菌

扁桃腺炎の原因である溶連菌は合併症があったり他の扁桃腺炎と
 治療方法が異なるため迅速診断が必要となります、検査は扁桃腺
 (口の奥)のところを綿棒でこすって調べます、
 検査結果は十分程度で判明します

3 アデノウイルス

扁桃腺炎やプール熱の原因であるアデノウイルスは治療方針の決定
 ため迅速診断が必要となります、扁桃腺のところを綿棒でこするか、
 目やにを採取することによって調べます、
 結果は十分程度で判明しますが、この検査の欠点は検出率が低いことで
 アデノウイルスに感染しているにもかかわらず検査では感染していない
 という結果になることがあります

4 便ロタ・アデノウイルス検査

冬に流行するウイルス性腸炎(はきくだし)の原因のひとつである
 ロタウイルスやアデノウイルスは症状が長引くため迅速診断が必要に
 なります、白っぽい便を認める場合に便を使用して検査を行います、
 結果は十五分程度で判明します、ただし検査結果によってお薬が変わる
 ことはほとんどありません

5 マイコプラズマ・RSウイルス

マイコプラズマという肺炎の原因や、RSウイルスという乳児の
 気管支炎の原因を調べる迅速診断の方法があります、ただし、手順が
 煩雑であったり、検出率が低かったりするため現在当院では行って
 いません、御了承下さい